

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第16回運営委員会議事録
- ◇電子メールニュースレターへの投稿について
- ◇日本惑星科学会入会案内
- ◇学会誌購読申込み

◇日本惑星科学会第16回運営委員会議事録

開催日時： 1995年11月14日（火） 12:10～13:30
 開催場所： 北海道大学学術交流会館
 出席者： 中沢・水谷・荒川・加藤・佐々木・福岡・藤井・藤原・松井・向井・村江・矢内・山本・渡部（以上出席者），武田・阿部・川口・杉浦・高木・寺沢（以上委任状），香内・関谷（以上オブザーバー）

I. 報告

1. 学会員の入会状況

学会員の現況について中沢会長より以下の通り報告があった。10月24日現在，一般会員（除学生会員）は342名，学生会員は123名，賛助会員は11社となっている。

2. 財務報告

杉浦直治財務専門委員長が欠席のため，同委員長が作成した以下の財務報告を中沢会長が代読した。春の地球惑星関連学会合同大会の分担金として約74,000円を上納した。今後予想される収入は約30万円，支出は100万円と見込まれ，現在の残金約108万円を勘案するとぎりぎり収支がバランスすると思われる。なお，会費長期滞納者15名に対

し，納入を促す手紙を送った。11月末日までに納入のない場合には本年末までに除名通告する準備に入っている。

3. 学会登録番号について

学術会議に認知されている登録学術研究団体については種々の事務上の取り扱いのため登録番号が付されることになり，本会は10989が付された旨，中澤会長より報告があった。

4. 運営委員会委員への連絡について

中澤会長より，今後運営委員会の開催に関わる連絡についてはE-mailを利用したい旨申し出があり，E-mail address 等連絡先の確認がされた。

委員会成立を確認の後，議事に入った。

II. 議事

1. 第32回宇宙空間科学（COSPAR）総会 共同主催について

標記案件については第14回運営委員会に諮っていたが，その際“本会がCOSPAR総会を後援する”との形で議事を進めた。9月初旬に宇宙空間研連西田委員長より“共同主催”の形での正式要請が

あったため再度議題として議論したい旨中澤会長より発言があり、西田委員長からの資料にもとづき説明があった。主催学会等としては本会以外に、日本学術会議、日本天文学会、地球電磁気・地球惑星圏学会等19組織が候補として上がっている。議論の結果、本会が主催組織の一員として加わることでCOSPAR開催に協力することとなった。

2. 編集専門委員会委員の追加について

村江編集専門委員会委員長より、委員長の補佐役として九州大学の並木則行氏を編集委員に加えたい旨提案があり、了承された。

3. 学術会議惑星科学研連設置について

武田副会長（学術会議担当）が学術会議及び関係研連委員と接触してきたこれまでの経緯及び今後の見通しについて、武田副会長からあずかったOHPをもとに中澤会長から説明があり、ついで武田副会長から提案された方針案につき議論した結果、提案通り了承された。

4. 地球惑星科学関連学会連絡会への対応について

シンポジウム共催依頼、総会日程などの問い合わせが来ているが、これらについては総務専門委員会で対処願うよう一任した。またこれと関連して、本会学会講演会や合同大会の企画を担う企画部会の強化を図る必要がある、との会長提案があり、佐々木企画部会長を中心に検討願うこととした。

5. 「学校地学関連学会間連絡協議会」について

地学教育学会より提案のあった標記連絡協議会

の設置については第14回運営委員会ですでに受諾する旨決定していたが、その際の議論は文字どおり“連絡”協議会としての性格付けを前提とするものであった。後日同協議会会則（案）が送付されてきたが、その中には議決権、対外代表権等が盛り込まれており、前々回の運営委員会での議論と前提条件が異なっているため再度議論して欲しい旨中澤会長より提案があり、討議の結果、会則等を緩やかなものにするを前提に同協議会設置について協力するとの主旨を中澤会長より文書で地学教育学会に伝えることとなった。

6. '96秋季学会講演会開催について

'96秋季学会講演会はすでに九州大学で行うことに決定しているが、更に具体的な開催要領につき討議の結果、日程を3日間（10/2（水）～10/4（金））とし、組織委員長には村江会員があたること、10/5（土）には一般公開講座を組むこと、また、2時間半程度の時間を確保して大型月惑星探査に関するシンポジウムを行うこととなった。

7. 将来計画案の策定について

山本将来計画専門委員会委員長より、同委員会で進めてきた惑星科学将来計画案の策定経緯につき説明があり、中間報告案が示された。この報告案についての若干の意見交換の後、山本委員長より「この段階で印刷・公表し、会員の批判・助言をおおぎ、それを最終報告書に反映させたい」との提案があり、了承された。なお、現在の将来計画専門委員会の属する分野に多少の片寄りがある旨指摘があり、今後若干の委員を追加することとなった。

◇電子メールニュースレターへの投稿について

電子メールニュースレターの発行は毎月15日前後に編集発行します。ニュースレターに記事を投稿したい方は毎月10日までに電子メールにより原稿を送付して下さい。宛先は、

JSPSNEWS@geo.titech.ac.jp

です。事務局でレイアウトを多少変更するするなど簡易編集はしますが、基本的には投稿原稿をそのままの形で掲載されることになります。

なお、電子メールとしての有効性を守るため、記

事はできるだけ簡潔なものにしていただくようお願いいたします。また、内容によって事務局の判断で掲載不可とさせていただく場合があります。あらかじめご承知おき下さい。また、これまでと同様電子メールニュースレターで流された記事は事務局の判断で学会誌「遊・星・人」に転載することがあります。

(東工大・榎森 啓元)

◇日本惑星科学会入会案内

「日本惑星科学会」は平成4年4月に発足しました。新学会の設立目的は、まず惑星科学それ自体の振興にあります。旧来分野の垣根を取り払い、相互理解や情報交換を積極的に進め、また、異なった手法、異なった対象の研究を集約し総合的な視点にたつて惑星科学を推進することが第一の目的です。また、本格的な惑星探査の時代を迎え、日本の惑星科学界全体として直接、間接に探査計画を支え、さらには将来の探査計画を立案すべく、新学会がその組織化をはかることも重要です。同時に、惑星科学研究の国際的な共同計画に日本の応分の負担と協力が求められている現在、新学会が力量を高め、国際的な窓口としての役割も果たすことになると思われます。更には、惑星科学の成果を社会に還元したり、また、中・高校生など若い人材を惑星科学に勧誘するための広報活動も新学会の重要な責務です。このような日本惑星科学会設立の主旨にご賛同くださり、今後の惑星科学の発展をともに担う広範な分野の方々の入会をお待ちしています。

入会の方法は下記の通りです。

年会費：

6,000円(但し、学生会員は4,000円)

入会手続：

- (a)入会申込書(本誌巻末に綴込まれています)にご記入の上、事務局にご送付下さい。
- (b)運営委員会において入会が認められますと、事務局より入会受理のお手紙を差し上げます。
- (c)その後、(財)日本学会事務センターより年会費請求書が送付されます。請求書に従って年会費をお振り込み願います。なお、入会受理より年会費請求まで遅延があります(最大2ヶ月程度)が、会員としての権利は入会受理と共に発生します。

事務局：

〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学 理学部 地学内

TEL：03-3720-9885；FAX：03-3727-4662

〒113 東京都文京区本駒込5-16-9

(財)日本学会事務センター

TEL：03-5814-5801；FAX：03-5814-5820

◇学会誌購読申込み

本誌「遊・星・人」は会員外の方でも1号あたり1,750円(含送料)で購読することができます。購読希望の方は、本誌巻末の「学会誌購入申込カード」に所定の事項をご記入の上、事務局にお申し込み下さい。なお、バックナンバーについては創刊号から購読できますが、発行予定のものについては

同年内発行のものまで(第1号より第4号まで)となっておりますのでご注意下さい。

学会事務局が購読申込書を受け取り次第、請求書(他必要書類)、バックナンバー及び最新刊会誌を送付します。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。